とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

超党派で「町を育てる会」

本別町長選に波紋

あと三ヵ月後の五月に迫つた本別町長選を前にして〝町民とともに未来をつくる〟と銘うつた「町を育てる会」が保守派を中心に組織されて超党派で革新派とも提携して新しい町づくりをめざすことになり、町長選にひとつの波紋を生じています。

「町を育てる会」の結成大会は八日午後一時半すぎから津村会館に趣旨に賛同した町民約二百名があつまつてひらき、倉川喜三郎氏の司会によつて発起人代表の安久津清人氏から

本別町はどうなるのか、精密検査、健康診断をした概略を申しあげたい、現在、町の財政は一般会計で約八億円の借金をしており、特別会計を入れて十億円をこえる、議会として健全財政との自信をもつて議決したが、小学校、病院、体育館、役場庁舎、老人ホームなどを建てた、これから建てるとすればこの借金は十五億円、二十億円になると考えられ、物価の安いうちに建てた水元町長に感謝すべきだが、しかしながら昨年から石油事情の影響をうけて国はすべて削減予算で本別町も好むと好まざるとにかかわらず影響をうける、いままでの八年間で約十億円の負債をしてきたがことしからそうはいかない、一月末現在で人口は一万四千六百十六人にへつて借金を返済してゆかねばならない、過疎現象から逃れられない、自民党も社会党も自治労も逃れられない、全町民がとりくまなくてはならない、人口増をはからねばならない、第二に大切なのは町民の健康管理で、町立病院は二億円をかけて近代化したが、水元町政になつてから婦人科も小児科も八年間おかない、医師はいないというが、足寄にはきている、水元町長は天才的な経理才能をもち町立病院の黒字をやつてのけたがそのかげに泣いている町民がいる、過日駅前で交通事故があり絶対安静のケガ人が外科医師がいないため帯広までゆき出血多量で亡くなつたが、助かるものが助からない、だれの責任か、こんにち町を育てる会によつて推しすすめたい

とのあいさつがあつて、議長団に平賀昌夫、貞本利光、門田三男、津村八重三、平忠一の五氏を推して議事に入りました。

十五の運動目標を決定

はじめに同じく発起人代表の井出利一郎氏から

本別は帯広につぐ十勝管内屈指の有力な町村として伝統と誇りをもつてきたが、二万の人口が一万四千台に減少し、現在のような姿では衰微の一路をたどるので、町民だれもが気軽に建議、進言し民主政治の原則に徒つて全町民参加による商、農林、工の均衡ある町政を心からねがい、町の発展と町民の福利をはかるため「町を育てる会」が発足した

との趣意書の説明があつてから会の運動目標として

一、町立病院の現状は七十六ベッドのうち三十三ベッドしか使われておらず結核病棟二十ベッドは七ベッドだけで、医師は一年交替の約束の臨時なので、積極的に医師の充実をはかり町民の不安感を解消しよう

二、過疎対策、商工、農林業の進展をはかるため高速自動車道路の分岐点、インターチェンジの誘致について運動をし、町議会において七回も質問したが理事者から賛成が得られず昨年十月十五日に自民党審議会で決定、十九日の閣議で勇足に決定した、足寄では特別委員会をあけてとりくんでいるが本別にはなく、私どもは勇足地区の方とともに自費で十二月に三日間にわたつて本州の現地を調査したが、メリットははあつてもデメリットはない、強力に推進しよう

三、地場産業を育成し、商工業、農林業の振興をすすめるべきだが、たとえば役場新庁舎の備品などは町内から購入しない町民不在の独断的な行政をなくそう

四、町民との話し合いを深めるべきだが、昨年は二十一名の飲食業者からの陳情を受理しなかつた、民主行政をすすめよう

五、営林署統廃合反対を議会で決議して政府各機関に送付することにしたが私どもは木材協会の方々と同行して林野庁へいつたが決議書はきていなかつた、営林署の職員は三百二十名で家族や関連企業をふくめ七千名の町民に影響する、仙美里駅や郵便局の合理化も阻止して過疎から町を守ろう

六、観光開発は本別沢からオンネトーに至る道々昇格が前提だが、かんじんの足寄側と仲が悪くなんの話し合いもないが、自然を活かした観光開発をすすめよう

など十五項目について提案しました。

長谷川議長の発言が問題に

つづいてこの運動目標についての質疑に入り

鈴木一氏　一週間に二度病院に通つているが[illegible]科医師が二人だけで病院はガラ空きである、どういう方法かメドがあるのか

安久津氏　歯科医師不足で早朝から行列だつたので議会の発案で文教厚生委員会が活動して誘致した、町立病院は町長は国保運営協議会にかけ議会に要請はない、医師がこないのは町長の人間性が嫌われ本別へはきたがらないという本別から医科大学に合格したものに全額町費で奨学資金をあたえて解決したい

鈴木氏　六年先のことでいますぐ間に合わない、町長から要請がなくても議員提案でやれる、議会はなにをしているか

高橋那雄氏　この会は各界に呼びかけたのか

井出氏　各界、各層に申し入れた、地区労や社会党とは十三日に会合する

井上米治氏　勇足の町政懇談会で長谷川議長が高速道路は四十一年にすでに航空測量によつて決つており一部のものが宣伝しているのは間違いですでに決つていると申した、自民党の方々が運動して誘致が決定したが公害を招き利益がないとのことだが、くい違いがあるがどうか

井出氏　心外な質問だが勇足の公的な会合でいつたのか

井上氏　議長の報告であつた

井出氏　町の過疎をいかに打開するか、私は議会で再三、再四高速道路に関して七回質問した、四十六年十一月には十二、三名で出札して道知事や開発局へ陳情した、四十一年に航空測量で決定した事実はない、決つているものを私どもが誘致運動をするわけがない

安久津氏　審議会の委員は本道からは本名代議士一人で、昨年十月に勇足地区に決定したとの電報がきていた（電文を読みあげ）道議候補にあるまじき発言ではないか

（ここで議長団の平賀氏が安久津氏に発言中止を命じ）

井出氏　決つた以上は協力しなければならないので私どもは自費で滋賀県の栗東町を視察した、同町議会の野村議長の案内をうけた栗東町の人口は一万三千人だつたがインターチェンジができて二万九千八百人となり、五十五年には五万人になるという、すでに二百の企業が誘致され、誘致条例はないので固定資産税を納めており、十勝特産のグリーンピースの缶詰工場もあれば、日高の競馬馬の調教場もあつて従業員が三千五百人とのことだつた

井上氏　勇足では四十人くらいだつたが、どちらが本当か一般は知らない、町民に報告すべきでないか

などの論議があつたほか養護老人ホームを寝たきり老人のための特別養護老人ホームにする、勤労青年のために足寄高校定時制への通学バス援助を復活する意見を採択して、運動目標を決定しました。

つづいて「育てる会」の会則を審議決定して役員選出にうつり、選考委員の鈴木武夫、本寺清忠、高橋邦雄、井上米治、小幡幸男、十河寿男、稲守篤氏らによつて会長に佐々孝造、副会長に多田弥法の両氏の推薦があつてこれを決定、このほかの役員は十三日からの各界、各層との話し合いによつて正副会長に一任することにしました。

ついで五月に迫つた町長選対策について、井出氏からの『民主主義の原則にもとずくルールに従つて町民参加により町の発展と町民福祉のための町民党的な推薦候補を立て、イデオロギーや政党の立場を抜き、素つ裸になつてすすめたい』との提案を満場一致で決定したあと、大会決議、万才三唱で午後五時すぎに閉会しました。（写真は大会で答弁に立つ井出利一郎氏）

水元氏の三選を推薦

本別町役場職組で

十二日に津村会館でひらいた本別町役場職員組合の定期大会で任期満了による五月の町長改選にあたり現職の水元孝夫氏の三選立起の推薦を決定しました。

なお、組合役員の改選で委員長に伊藤澄夫氏、副委員長に新津行幸氏、書記長に粂田達一氏の三役を選出しました。

国のうちそと

★四半世紀におよぶ保守長期政権の功罪はともかくとして、このインフレ物価高のなかで下がるのは田中内閣の人気だけで、国民の大多数はいまの政治に失望しているし、五千万人の勤労者が団結すればこんな内閣はいつでもつぶせる筈ですが、保守、革新の議席逆転か期待されているこの夏の参議院選挙は案外現状維持にとどまるかもしれないとすれば、革新政党側にも責任があること。

★四野党ではそれぞれ連合政権構想をかかげていますが、いずれもテンデンバラバラで、政権構想が一致するのなら四党にわかれている必要はないとしても、

革新連合政権

全野党連合という社会党、社共中軸の共産党、社公民の公明党、社公民に自民党の一部もという民社党にわかれていて、組み合せ自体がチンプンカンプン。

★社共中軸といつても社会党は非武装中立、共産党は将来憲法を改正して軍隊をもつというのだから、まさに正反対の政党であり、最近は動力車労組をめぐつて指導権争いのさなかにあり、公明党は人間性社会主義という名の修正資本主義政党であり、民社党は第二組合づくりの分裂主義反共政党であり、こんな政党をどう組み合せてみてもシックリいく筈もないこと。

★自民[illegible]には希望はもてな[illegible]りとてこれにとつて[illegible]るだけの野党が存在しないことが不幸な日本の現実で、これを打開すを一番よい方法は全野党が解党して一本になることですが、それができないとすれば反自民の最大公約数で野党が連合するしかなく、それには百名以上の野党も二、三十名の野党も対等で言いたい放題といういまのやり方ではなく、民主的に野党のなかの多数[illegible]か首導権をもつて少数党の意見もとり入れてリードしていくまとまりのよい連合体でなければならないこと。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊇久保呉服店
足寄町　T二一四八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
有限会社　大浦建設
造園　土木　造林　請負
足寄町芽登　T11
大浦晃

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T　二三六二　工場西五区

新鋭機導入！
一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車
RM　アクリル調色機
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
ポンコツ車買い入れます　足寄町　T　二五七八